
アプリケーション理解

Excel VBA

【目次】

分岐の多い条件分岐	3
select 文	3
select で範囲選択する	6

分岐の多い条件分岐

if 文で分岐ができますが、分岐が多いと記述が大変です。そこで select 文を使うと便利です

select 文

Select Case 条件

Case A

条件が A だった場合の処理

Case B

条件が B だった場合の処理

Case Else

すべてに該当しなかった場合の処理

End Select

if 文よりも、Select 文で書いたほうが、条件の記述が簡単になります。

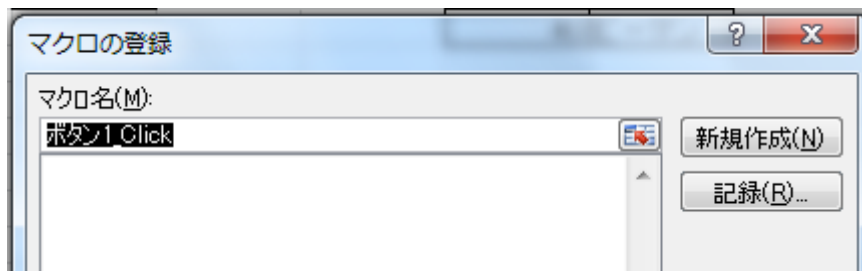
C5		f_x		コード			
A	B	C	D	E	F	G	H
	実習	Selectで分岐する			コード	結果	
		コード			10	大根	
					20	はくさい	
					30	キャベツ	
					40	ピーマン	

まずは、上図を入力します。

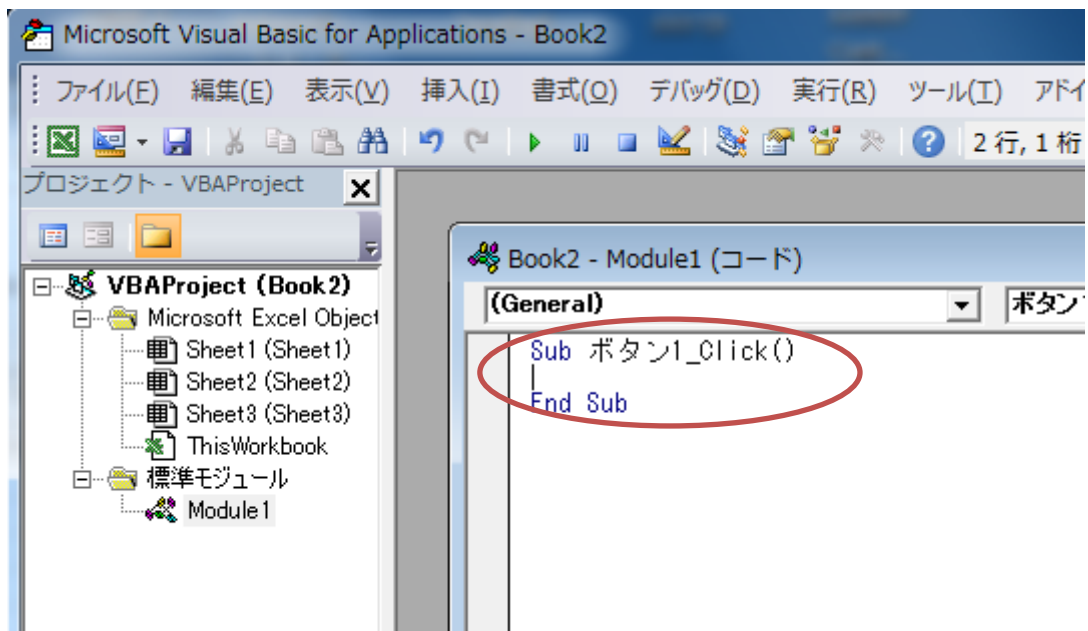
F	G	H	I	J	K
コード	結果				
10	大根				
20	はくさい				
30	キャベツ				
40	ピーマン				

ボタン1

では、開発リボンの挿入で、フォームボタンを I4 から K6 に掛けて作成します。



ボタン1_Click と表示されるので、新規作成ボタンを押します。



すると、ボタン1_Click()モジュールの編集ができるようになります。

ここに、次のプログラムを入力します。

select で範囲選択する

今度は、ピッタリの値ではなく、範囲指定の場合をやってみましょう。
まずは、この図を入力します。

実習	selectで範囲選択する	ポイント	商品
		100以上	商品券
		200以上	図書カード
		300以上	入浴剤
		400以上	タオル

続いて、I9に K10にボタンを入れてください。そしてボタン 2_Click のソースを入力します。

ポイント	商品	selectで範囲選択
100以上	商品券	
200以上	図書カード	
300以上	入浴剤	
400以上	タオル	

```
Sub ボタン 2_Click()
    Dim syouhin As String
    Select Case Range("C12").Value
        Case Is >= 400
            syouhin = "タオル"
        Case 300 To 399
            syouhin = "入浴剤"
        Case 200 To 299
            syouhin = "図書カード"
        Case 100 To 199
            syouhin = "商品券"
    End Select
    MsgBox syouhin
End Sub
```

これで、範囲指定で判別することができるようになります